

## SPODフォーラム

日 時：平成30年8月29日（水）～31日（金）  
場 所：香川大学幸町北キャンパス  
主 催：四国地区大学教職員能力開発ネットワーク（SPOD）  
全体テーマ：「教職員のミニマムエッセンシャルズを考える」  
参加費：SPOD加盟校の教職員 無料  
SPOD加盟校以外の教職員 10,000円  
参加者数：463名（延べ1,590名）

### SPODフォーラムとは

大学等の教職員が自らの能力開発のために役立つ、多種多様で質の高いFD・SDプログラムならびに組織を越えた持続的な相互交流・関係づくりの場

### 特徴

1. 多彩な講師陣
2. 職場で使える実践型プログラム
3. SDプログラムも多数開講

### 実施内容及び成果

あらゆる立場の教職員が、その場でのスキルアップにつながるような実践的なプログラムを提供することを目的として、8月に香川大学において「SPODフォーラム2018」を開催した。今回で10回目という節目の本フォーラムを香川大学で迎え、3日間の日程で、ポスターセッションに加え、全40講座のプログラムを開講した。本フォーラムでは、全体テーマに「教職員のミニマムエッセンシャルズを考える」を掲げ、過去のアンケートに寄せられた参加者からの要望や時代のニーズ等を考慮しつつ、テーマに関連したプログラムを始めとした多種多様なプログラムを提供し、参加者それぞれの立場ごとに自身が何を身につければよいのかを考える契機とした。

シンポジウムでは、「大学教職員に今、何が求められるのか」をテーマに講演及びディスカッションを行った。まず、シンポジスト2名が、SDが義務化された状況下で大学教職員に求められる新たな資質について、各々の多岐に渡る経験を基に講演を行った。続いて、指定討論者（SPOD企画・実施統括者）が、本シンポジウムの核となる問いを踏まえつつ、SPOD事業の10年間を振り返った。その後、シンポジスト及び指定討論者が参加者からの質問に答えながら議論を交わし、フロア全体でテーマに関する現状と課題を共有した。参加者からは、「大学教育の現状を知り、視野を広げることができた」「大学として揺るがない理念のもと改革を進めていくことの重要性について改めて認識する機会となった」「学生に求められる力、そしてその学生を育成する大学に求められる役割を今一度掘り下げ、考えていきたい」等のコメントがあった。



大学等の経営管理を担うために必要な情報を収集し、トップリーダーとしての能力を高めることを目的とした「トップリーダーセミナー」は、これまでよりもコマ数を増やし、2名の講師による2コマ連続開講とした。1コマ目の「管理職のための、新たな入試・学生募集・高大接続を考えるセミナー」では、これからの大学入試、学生募集、高大接続の存り方について、「成長」をキーワードにいくつかの事例を解説しつつ、受講者が自校の方向性を考える上でのヒントを提供した。受講者からは、「小手先の入試改革とならないためには、何を目標として掲げ、どこに注力する必要があるのか、まさに『事実から出発』した改革のお話が伺えたことが有意義だった」

「自校への入試制度への反省と改善の方向性に気付くことができた」等のコメントがあった。2コマ目の「大学アイデンティティの共有と教員・職員の役割—大学を考え、自校を知り、ミッションを実現する—」では、FD・SDの歴史や課題、そして大学の将来のために教員と職員それぞれが大切にすべきことは何かなどについて、講師の長年にわたる教育経験を基にした示唆から、受講者に熟考を促した。受講者からは、「FD・SDの定義や大学の歴史を知ることによって業務の本質的な理解につながることが分かった」「誠実に学生・大学の役割という大きなテーマに向き合ってもらえた大学の足跡の一部を知ることができた」等のコメントがあった。



初日のプログラム終了後には、今回で4回目となるポスターセッションを実施した。加盟校内外から16組（うち発表代表者の所属が加盟校7、加盟校外9）の取組発表があり、ポスターセッションを通じて各校のFD・SDの取組に関する活発な意見交換が行われた。また、参加者による投票及び審査員による審査を行い、4組に「優秀ポスター賞」を授与した。

本フォーラムには全国各地からの参加があり、参加者は463名（延べ1,590名）に上った。加盟校外からの参加者も近年増えており、今年度は4割が加盟校外参加者であった。香川大学開催ということもあり、加盟校外では関西方面からの参加者が特に多かった。フォーラム終了3週間後からWeb回答形式で実施した事後全体アンケートでは、回答者の97.6%から「満足」の評価を得るとともに、知識やスキルの習得及びそれらの現場での活用、意識改革、人脈づくり等の各項目で、肯定的回答が8割を超える好結果となった。さらに今年度は、加盟校内外別、設置者別及び規模別にアンケート結果を比較した。加盟校内外別では、加盟校外参加者の方が、全体的に肯定的回答者の割合が高く、全体的な満足度も高い傾向にあることが分かった。加盟校外では、特に意欲の高い方が積極的にフォーラムに参加している傾向が見られ、こうした意欲の高い加盟校外参加者の存在は、学びの効果や意欲を高める等、加盟校内参加者にもより良い影響を与えるものと期待できる。また、設置者別においては、国公立よりも私立の方が全体的に肯定的回答者の割合が高く、規模別では、規模が大きくなるほど全体的な満足度は高く、逆に意識改革については規模が小さくなるほど肯定的回答が高い傾向にあることが分かった。

なお、事後全体アンケートではSPODフォーラムへの要望についても同時に調査しており、本アンケート結果及び要望への対応については、32～47ページに掲載している。

本フォーラムは、開催校の香川大学とSPOD事務局（愛媛大学）が連携・協力して入念に準備を行った。当日は、香川県内各加盟校を始め、多くの教職員が設置形態を越えて運営に携わるとともに、大規模イベントを運営するためのノウハウの伝達や教職員の交流の場としても大いに活用された。

次回の「SPODフォーラム2019」は、3年ぶりに愛媛大学で開催し、SPODホームページのSPODフォーラムに関するページをより分かりやすい形に見直す予定である。



SPODフォーラム2018受講者数(プログラム別)

平成30年8月31日現在

日時	番号	プログラム名	講師	定員	受講者数	教員	職員	①SPOD内	②SPOD外
8/29 1時限	2901A	学生の学びを促すシラバスの書き方	葛城浩一	55	23	22	1	8	15
	2901B	グループワークで学ぶ自校の歴史-「香川大学検定」を例に-	山本珠美	55	10	7	3	2	8
	2901C	反転授業をやってみよう-橋本メソッドの実践から-	金西計英	50	28	26	2	11	17
	2901D	大学職員の基礎力を考える	織田隆司	48	46	0	46	17	29
	2901E	自発的な発言を促すアクティブラーニングのやりかた-初歩のロジカル思考演習-	山中隆史	30	28	25	3	13	15
	2901F	職員のためのSP作成ワークショップ	重松映美, 清水栄子	24	21	0	21	5	16
8/29 2時限	2902A	基礎から学ぶ学習評価法	佐藤慶太	55	47	43	4	15	32
	2902B	今さら聞けないICT利用による教育の意義と方法	林敏浩	55	53	34	19	22	31
	2902C	大人数講義のコツ	小林直人	55	32	24	8	12	20
	2902D	図書館員のためのアジア諸国情報の調べ方 -留学生に対する図書館利用支援-	廣田美和, 玉岡兼治 三浦さゆり	30	12	0	12	9	3
	2902E	若手職員のためのキャリア形成入門	藤巻晃	30	32	0	32	14	18
	2902F	S D担当者研修-戦略的な人材育成をするために-	吉田一恵, 久保秀二	20	18	0	18	3	15
8/29 3時限	2903A	学生参加型授業の技法	西本佳代	32	28	27	1	13	15
	2903B	学生のためのキャリア形成支援	岡靖子	55	45	26	19	16	29
	2903C	教職協働で学習支援に取り組む-理想と現実のギャップを埋めよう-	清水栄子	50	27	17	10	4	23
	2903D	大学職員のためのフィードバック入門	俣野秀典	50	43	10	33	17	26
	2903E	若手職員に知ってもらいたい『報・連・相』のコツ -もっと良くなる職場内コミュニケーション-	宮内卓也, 井村公一 大塚陽介	30	30	0	30	17	13
8/30 1時限	3001A	シラバス・授業を改善しよう!	葛城浩一, 佐藤慶太 西本佳代	24	8	8	0	4	4
	3001B	大人数でも進度を落とさずアクティブラーニング-TBLと言う反転授業のやりかた-	立川明	72	62	61	1	32	30
	3001C	学生・若手職員のミニマム・エッセンシャルズを考えよう! -成長を促す振り返りにむけて-	塩崎俊彦	55	34	5	29	5	29
	3001D	教学IRデータを適切に取り扱うために-組織または個人でできることを考える-	竹中喜一	50	49	15	34	13	36
	3001E	トップリーダーセミナー「管理職のための、新たな入試・学生募集・高大接続を考えるセミナー」	福島一政	30→50	50	20	30	29	21
	3001F	理工系講義形式授業における1回の授業デザイン	榊原暢久, 吉田 博	30	9	9	0	1	8
8/30 2時限	3002B	初年次教育におけるシナリオ型PBLの実践	吉田香奈	55	51	41	10	26	25
	3002C	中堅教員のための研究指導講座(大学生の卒論作成を支援する方法)	近田政博	55	39	38	1	13	26
	3002D	人材育成のための人事評価-評価からパフォーマンス・マネジメントへ-	阿部光伸	50	48	4	44	7	41
	3002E	トップリーダーセミナー「大学アイデンティティの共有と教員・職員の役割-大学を考え、自校を知り、ミッションを実現する-」	寺崎昌男	30→50	51	16	35	32	19
	3002F	教職課程事務担当者の基礎力講座-教職課程事務の学び方と知識の活用方法-	小野勝士	30	26	3	23	13	13
8/30 3時限	3003G	シンポジウム「大学教職員に今、何が求められるのか」	金子元久, 山口裕之 小林直人	300	310	149	161	165	145
8/31 1時限	3101A	授業内グループワークへの参加意欲を高めるためのアイデア	村田晋也	55	33	31	2	14	19
	3101B	障害学生の支援について	小方朋子	55	38	15	23	17	21
	3101C	学生の学ぶ意欲を引き出す授業とは?	岩中貴裕	55	36	33	3	15	21
	3101D	職員のための「前向きな職場づくり」実践 -個の力・組織の力を活かす-	宮林常崇	50	41	1	40	18	23
	3101E	教職員のための「大学の危機管理」-事例から考えるハラスメント-	吉田一恵, 高木佳代子	30	29	2	27	6	23
	3101F	F D担当者研修-問題解決のためのF Dを設計する-	中井俊樹, 西野毅朗	30	30	20	10	12	18
8/31 2時限	3102A	ルーブリック評価入門-考える、つくる、活用する-	俣野秀典	50	37	30	7	11	26
	3102B	大学教職員のための留学生受入実践:最初の1ヶ月	バージン・ルース, 高橋志野	55	30	5	25	9	21
	3102C	グラフィックシラバスを書こう	宮田政徳	55	9	9	0	3	6
	3102D	5年後のなりたい自分像のために-何から始めますか?-	各務正, 野口里美	20	20	3	17	13	7
	3102E	ケースメソッドを活用した能力開発 (SPODフォーラム2016優秀ポスター賞受賞組)	上島洋佑, 松村典彦	30	24	5	19	4	20
合計				1930	1587	784	803	660	927

※ポスターセッションのみ参加(プログラム受講なし)の3名(教員1名,学生・大学院生2名)を含め、8/29~31延べ参加者数1590名

## SPODフォーラム2018ポスターセッション「優秀ポスター賞」受賞組一覧

投票場所: 香川大学幸町北キャンパス OLIVE SQUARE 2階 多目的ホール

投票期間: 平成30年8月29日(水)17:40~平成30年8月30日(木)13:00

表彰式: 平成30年8月30日(木) 情報交換会時

ポスター番号	テーマ	発表代表者			共同発表者
		氏名	所属	SPOD加盟校	氏名(所属)
3	質保証のための卒業生インタビュー調査	塩崎 俊彦	高知大学 大学教育創造センター	○	小島 郷子(高知大学 大学教育創造センター) 立川 明(高知大学 大学教育創造センター) 杉田 郁代(高知大学 大学教育創造センター) 高畑 貴志(高知大学 大学教育創造センター) 黒田 さやか(高知大学 学務課)
6	小学校教諭経験を生かした大学でのAL実践基礎づくり	宮崎 大樹	高知学園短期大学 幼児保育学科	○	
7	初年次リーダーシップ科目による学び合いの風土作り	佐伯 勇	甲南女子大学 人間科学部		
11	日本の大学におけるStaff Developmentの論点と課題	竹中 喜一	愛媛大学 教育・学生支援機構教育企画室	○	上島 洋佑(愛媛大学 教育・学生支援機構教育企画室) 清水 栄子(愛媛大学 教育・学生支援機構教育企画室) 中井 俊樹(愛媛大学 教育・学生支援機構教育企画室)

## SPODフォーラム2018ポスターセッション取組一覧

日時: 平成30年8月29日(水)17:40~19:00

場所: 香川大学幸町北キャンパス OLIVE SQUARE 2階 多目的ホール

ポスター番号	テーマ	発表代表者			共同発表者
		氏名	所属	SPOD加盟校	氏名(所属)
1	コンピテンシーの気づきを促す自己評価の可視化	松本 高志	阿南工業高等専門学校 創造技術工学科	○	小松 実(阿南工業高等専門学校 創造技術工学科) 川畑 成之(阿南工業高等専門学校 創造技術工学科) 山田 耕太郎(阿南工業高等専門学校 創造技術工学科) 太田 健吾(阿南工業高等専門学校 創造技術工学科)
2	学生と育てるLMS~CHUKYO MaNaBo活用推進の成果と課題~	満田 清恵	中京大学 学術情報システム部情報システム課		森 純菜(中京大学 学術情報システム部情報センター) 東 玲名(中京大学 学術情報システム部情報センター)
3	質保証のための卒業生インタビュー調査	塩崎 俊彦	高知大学 大学教育創造センター	○	小島 郷子(高知大学 大学教育創造センター) 立川 明(高知大学 大学教育創造センター) 杉田 郁代(高知大学 大学教育創造センター) 高畑 貴志(高知大学 大学教育創造センター) 黒田 さやか(高知大学 学務課)
4	評価・IR担当者に必要な知識・スキルを考える	高田 敏行	茨城大学 全学教育機構		橋本 智也(四天王寺大学 IR・戦略統合センター/教育学部)
5	理工系分野におけるFDプログラム開発の展開ver4.0	榊原 暢久	芝浦工業大学 教育イノベーション推進センター		吉田 博(徳島大学 総合教育センター)
6	小学校教諭経験を生かした大学でのAL実践基礎づくり	宮崎 大樹	高知学園短期大学 幼児保育学科	○	
7	初年次リーダーシップ科目による学び合いの風土作り	佐伯 勇	甲南女子大学 人間科学部		
8	組織の安定運営を支える「優しい」SDー若手職員育成の課題解決への示唆ー	松村 典彦	金沢大学 スーパーグローバル大学企画・推進室 国際部留学企画課留学推進係		上島 洋佑(愛媛大学 教育・学生支援機構教育企画室)
9	講義のアクティブラーニング(AL)度を可視化する指標(BAL)を活用した、全学的なAL推進の試み	中嶋 克成	徳山大学 福祉情報学部		寺田 篤史(徳山大学 経済学部) 河田 正樹(徳山大学 経済学部長) 岡野 啓介(徳山大学 学長)
10	看護教員と教育開発者による初年次導入科目設計と評価	中島 正世	神奈川工科大学 看護学部看護学科		伊藤 勝久(神奈川工科大学 教育開発センター) 鈴木 慶孝(神奈川工科大学 非常勤講師)
11	日本の大学におけるStaff Developmentの論点と課題	竹中 喜一	愛媛大学 教育・学生支援機構教育企画室	○	上島 洋佑(愛媛大学 教育・学生支援機構教育企画室) 清水 栄子(愛媛大学 教育・学生支援機構教育企画室) 中井 俊樹(愛媛大学 教育・学生支援機構教育企画室)
12	学習支援担当者に求められる能力・スキルとはー米国専門職団体を事例としてー	清水 栄子	愛媛大学 教育・学生支援機構教育企画室	○	岸岡 奈津子(立命館大学 学生部OIC学生オフィス) 山崎 その(京都外国語大学 総合企画室) 中井 俊樹(愛媛大学 教育・学生支援機構教育企画室)
13	新入生を対象にした大学に対する価値観に関する調査ー徳島大学SIH道場の改善にむけてー	上田 勇仁	徳島大学 総合教育センター	○	塩川奈々美(徳島大学 総合教育センター)
14	ミクロレベルのFDから教育の質保証へとつなげる試み	Mazur Michal	北海道大学 高等教育推進機構		山本 堅一(北海道大学 高等教育推進機構)
15	FDerによる授業公開と「教・職・学」ピアレビュー	三苦 好治	県立広島大学 生命環境学部		
16	中四国高専による共通シラバス作成およびビデオ教材開発	衣笠 巧	新居浜工業高等専門学校	○	西井 靖博(新居浜工業高等専門学校) 土居 俊房(高知工業高等専門学校) 長山 和史(高知工業高等専門学校) 青木 薫(米子工業高等専門学校) 藤井 貴敏(米子工業高等専門学校) 中野 陽一(宇部工業高等専門学校) 杉本 憲司(宇部工業高等専門学校)

# SPODフォーラム2018参加者数

## 【参加者数】

区分	教員	職員	学生・大学院生	その他	計
SPOD加盟校	115	160	0	0	275
SPOD加盟校外	80	106	2	0	188
合計	195	266	2	0	463

※ポスターセッションのみ(プログラム受講なし)の3名(教員1名, 学生・大学院生2名)を含める。

## 【開催日別参加者延べ人数】

日程・区分	教員	職員	学生・大学院生	その他	計
8月29日(水)	262	262	2	0	526
8月30日(木)	369	368	0	0	737
8月31日(金)	154	173	0	0	327
合計	785	803	2	0	1590

※ポスターセッションのみ(プログラム受講なし)の3名(教員1名, 学生・大学院生2名)を含める。

## 【参考】SPODフォーラム参加者数経年変化

開催年	開催大学	開催日程	日数	参加人数					内訳										延べ人数		
				合計	教員	職員	学生・大学院生	その他	SPOD加盟校					加盟校外							
									小計	教員	職員	学生・大学院生	その他	うち開催大学	(※)うち開催県加盟校	小計	教員	職員		学生・大学院生	その他
2018	香川大学	H30.8.29~H30.8.31	3	463	196	265	2	0	275	115	160	0	0	73	18	188	81	105	2	0	1590
2017	徳島大学	H29.8.23~H29.8.25	3	405	169	230	4	2	225	91	131	3	0	69	49	180	78	99	1	2	1428
2016	愛媛大学	H28.8.24~H28.8.26	3	503	191	305	3	4	305	108	194	3	0	87	88	198	83	111	0	4	1469
2015	愛媛大学	H27.8.26~H27.8.28	3	488	197	285	0	6	286	112	172	0	2	74	69	202	85	113	0	4	1507
2014	高知大学	H26.8.27~H26.8.29	3	437	191	239	0	7	259	112	146	0	1	106	57	178	79	93	0	6	1295
2013	愛媛大学	H25.8.20~H25.8.23	4	560	209	312	35	4	369	130	204	35	0	112	128	191	79	108	0	4	1538
2012	徳島大学	H24.8.22~H24.8.24	3	496	168	271	53	4	373	129	191	53	0	103	46	123	39	80	0	4	1432

※開催県加盟校：開催大学を除く。